



2024年11月12日

各位

会社名 Solvvy 株式会社
代表者名 代表取締役社長 安達 慶高
(コード番号：7320 東証グロース)
問合せ先 上席執行役員管理本部長 吉川 淳史
(TEL：03-6276-0401)

上場廃止となった子会社（株式会社メディアシーク）に関する決算開示について

2024年11月1日をもって完全子会社化した株式会社メディアシークに関する2025年6月期第1四半期決算短信（2024年7月1日～2024年9月30日）について、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社メディアシーク 上場取引所 —
コード番号 — URL <https://www.mediaseek.co.jp/>
代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)西尾 直紀
問合せ先責任者 (役職名)業務管理部長 (氏名)立石 章 (TEL) 03-5423-6600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年6月期第1四半期	162	△32.4	△50	—	△47	—	△79	—
2024年6月期第1四半期	240	19.2	19	304.7	42	119.7	27	88.1

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 △315百万円 (—％) 2024年6月期第1四半期 △98百万円 (—％)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	△8.19	—
2024年6月期第1四半期	2.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年6月期第1四半期	3,356	2,793	82.6
2024年6月期	3,926	3,127	79.1

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 2,772百万円 2024年6月期 3,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2025年6月期	—	—	—	—	—

(注) 当社は、2024年10月30日付で上場を廃止していることから「2025年6月期（予想）」を記載しておりません。当社の完全親会社であるSolvvy株式会社の配当予想につきましては、2024年8月9日公表の「2024年6月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

当社は、2024年10月30日付で上場を廃止していることから業績予想を記載しておりません。当社の完全親会社であるSolvvy株式会社の業績予想につきましては、2024年8月9日公表の「2024年6月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年6月期1Q	9,766,800株	2024年6月期	9,766,800株
2025年6月期1Q	23,345株	2024年6月期	23,345株
2025年6月期1Q	9,743,455株	2024年6月期1Q	9,743,455株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士
又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2024年10月30日付で上場を廃止していることから業績予想を記載しておりません。また、2024年11月1日付でSolvvy株式会社を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換により、Solvvy株式会社の完全子会社となりました。当社の完全親会社であるSolvvy株式会社の業績予想につきましては、2024年8月9日公表の「2024年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたこと等により、緩やかな回復の兆しがみられる一方で、ウクライナ情勢の長期化や、原材料価格の高騰による物価上昇等、経済の先行きに係る不確実性は依然として高い状況が続いております。

当社グループは、「善いものを生みだし続ける」を経営理念に定め、既にビジネスモデルの確立した事業を堅実かつ安定的に成長させると同時に、ここで獲得した資金を原資に継続的に新規事業領域への投資を行うことで、企業体の存続と新規ビジネスモデルの生成を永続的に両立させることを経営方針としており、引き続きコーポレートDX、画像解析・AI、ライフスタイルDX、ブレインテック・DTx及びベンチャーインキュベーションの5つの事業領域をターゲットにビジネス展開を行っております。

新型コロナウイルス感染症の影響をきっかけに、働き方改革及びテレワークの浸透並びに業務プロセスの効率化等のDXの推進によりITサービスの需要は堅調に拡大しております。当社グループは、これらの状況を踏まえた上で、新たな市場トレンドに対応した成長市場向けサービス強化と新規ビジネス拡大を進めております。また、社内体制整備の側面においても、働き方改革及びテレワークの社会的普及のトレンドを先取る形で首都圏在住にこだわらない流動的かつ機動的なエンジニア確保のスキーム構築を進めており、一定の成果が表れております。

当第1四半期連結累計期間においては、「コーポレートDX」ビジネスユニットにおいて、国内の法人クライアントに対するシステムコンサルティング業務による売上を計上しました。「画像解析・AI」ビジネスユニットにおいては、スマートフォン向け無料提供アプリ「バーコードリーダー/アイコンット」を中心に、主にスマートフォン向け広告収入による売上を計上しました。「ライフスタイルDX」ビジネスユニットにおいては、当社オンラインプラットフォーム「マイクラス」による売上のほか、スマートフォン向けゲーム等各種情報サービスによる売上を計上しました。「ブレインテック・DTx」ビジネスユニットにおいては、DTx、認知機能チェック、医療SI及びNFBエンジン提供等の各種領域で研究開発及び新規事業構築活動を行っております。「ベンチャーインキュベーション」ビジネスユニットにおいては、有望なスタートアップ企業、各種ベンチャー企業に対するインキュベーションサービスに伴う活動を実施しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、162,835千円(前年同期比32.4%減)、営業損失は、50,627千円(前年同期は19,674千円の営業利益)、経常損失は、47,873千円(前年同期は42,721千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、79,772千円(前年同期は27,068千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。前年同期が非常に好調であったことに加え、受注状況の変動により、前年同期に比べて減収減益となっております。

セグメントごとの経営成績は以下の通りです。

(コーポレートDX)

「コーポレートDX」ビジネスユニットにおいては、主に国内の法人クライアントに対するシステムコンサルティングサービスを実施しました。その結果、同ビジネスユニットの当第1四半期連結累計期間の売上高は、78,442千円(前年同期比4.1%減)、セグメント利益は、13,465千円(前年同期比66.6%減)となりました。国内におけるDXの推進によるITサービスの需要拡大の流れはあるものの、受注状況の変動により、売上高及びセグメント利益は前年同期に比べ減少しております。その結果、以下の表のとおり、セグメント利益率は以下の結果となっております。

	2022年7月期 第1四半期	2023年7月期 第1四半期	2024年6月期 第1四半期	2025年6月期 第1四半期
セグメント利益率	45.3%	39.2%	49.2%	17.2%

(画像解析・AI)

「画像解析・AI」ビジネスユニットにおいては、主に累計3,600万ダウンロードを達成したスマートフォン向け無料提供アプリ「バーコードリーダー/アイコンット」を中心としたスマートフォン向け広告収入のほか、各種ライセンス提供に基づく売上を計上しました。また、次世代のサービスを開発するため、社内での研究開発を積極的に進めております。その結果、同ビジネスユニットの当第1四半期連結累計期間の売上高は、47,235千円(前年同期比29.2%減)、セグメント利益は、10,311千円(前年同期比49.6%減)となりました。

(ライフスタイルDX)

「ライフスタイルDX」ビジネスユニットにおいては、当社オンラインプラットフォーム「マイクラス」による売上を計上しました。「マイクラス」のクライアントであるカルチャーセンター業界は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により業界再編が進み中小カルチャーセンターの事業撤退が発生している一方で、経営の効率化を迫られた大手カルチャーセンターの情報設備投資が促進されている状況にあります。この他、スマートフォン向けゲーム等各種情報サービスによる売上を計上しました。その結果、同ビジネスユニットの当第1四半期連結累計期間の売上高は、36,884千円(前年同期比60.0%減)、セグメント損失は、4,114千円(前年同期は31,751千円のセグメント利益)となりました。

(ブレインテック・DTx)

「ブレインテック・DTx」ビジネスユニットにおいては、DTx、認知機能チェック、医療SI及びNFBエンジン提供等の各種領域で研究開発及び新規事業構築活動を行っております。また、当社が独自開発したブレインテックエンジン「ALPHA SWITCH」を活用したアプリによる売上のほか、各種コンサルティングサービスに基づく売上を計上しました。その結果、同ビジネスユニットの当第1四半期連結累計期間の売上高は、272千円(前年同期比14.3%増)、セグメント損失は、13,192千円(前年同期は12,247千円のセグメント損失)となりました。当該セグメントの売上高は、僅少な値となっておりますが、これは、当該セグメントの活動が当第1四半期連結累計期間において、事業立ち上げのフェーズにあり本格的に売上高を計上するフェーズにないためです。

(ベンチャーインキュベーション)

「ベンチャーインキュベーション」ビジネスユニットにおいては、有望なスタートアップ企業、各種ベンチャー企業に対するインキュベーションサービスに伴う活動を実施しました。なお、当第1四半期連結累計期間で一部売上高及び利益が発生しておりますが、これらは、全社管理部門で発生した費用及び「コーポレートDX」ビジネスユニットで計上された売上高及びセグメント利益と切り分けが困難であるため、当該ビジネスユニットに値を含めております。なお、当第1四半期連結累計期間に計上されているその他有価証券評価差額金のうち、608,684千円は、同ビジネスユニットの活動に起因したものといたします。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産の部

資産の総額は、3,356,979千円(前連結会計年度末比14.5%減)です。

流動資産は、総資産の18.8%に相当する632,395千円(前連結会計年度末比24.8%減)です。流動資産の前連結会計年度からの減少額は、208,744千円となっておりますが、この主要因は、現金及び預金が184,011千円減少したこと及び売掛金及び契約資産が31,017千円減少したことによるものです。また、現金及び預金の残高は、384,325千円(前連結会計年度末比32.4%減)となっており、流動資産のその他に含まれる預け金の残高は、66,067千円(前連結会計年度末比3.1%増)となっております。これらは、いずれも現金及び現金同等物に相当し、合計で450,392千円(前連結会計年度末比28.8%減)となっており、流動資産の大きな割合を占めております。なお、現金及び預金の減少は、主として借入金の返済及び債務の支払いに伴うものです。

固定資産は、総資産の81.2%に相当する2,724,583千円(前連結会計年度末比11.7%減)です。そのうち、投資その他の資産は、総資産の80.4%に相当する2,699,350千円(前連結会計年度末比11.8%減)です。投資その他の資産の前連結会計年度からの減少額は361,004千円となっておりますが、この主要因は、余資運用の一環として保有する投資有価証券の時価が一部減少したこと等により、投資有価証券が360,892千円減少したことによるものです。なお、貸倒引当金が26,650千円計上されておりますが、投資その他の資産のその他に含まれる長期滞留債権26,650千円に対応して計上されたものになります。債権全額に対して貸倒引当金が設定されているため、貸倒れの確定による多額の追加損失発生の恐れはありません。なお、投資有価証券が2,627,635千円計上されておりますが、この99.2%に相当する2,601,572千円は時価を有する性質のものです。

②負債の部

負債の総額は、負債純資産合計の16.8%に相当する563,760千円(前連結会計年度末比29.4%減)です。

流動負債は、負債純資産合計の4.4%に相当する148,777千円(前連結会計年度末比40.1%減)となっております。流動負債の前連結会計年度からの減少額は、99,488千円となっておりますが、この主要因は、法人税の納付に伴い未払法人税等が54,914千円減少したことによるものです。

固定負債は、負債純資産合計の12.4%に相当する414,983千円(前連結会計年度末比24.7%減)となっております。前連結会計年度からの減少額は、135,818千円となっておりますが、この主要因は、繰延税金負債が121,129千円減少したこと及び長期借入金が14,707千円減少したことによるものです。

③純資産の部

純資産の総額は、2,793,218千円(前連結会計年度末比10.7%減)であり、自己資本比率は、82.6%と高い水準を維持しております。純資産の前連結会計年度からの減少額は、334,687千円となっておりますが、この主要因は、以下の通りです。19,486千円の配当を実行したこと及び親会社株主に帰属する四半期純損失を79,772千円計上したことにより利益剰余金が99,259千円減少しました。また、保有する投資有価証券の時価が一部減少したこと等により、その他有価証券評価差額金が235,481千円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は2024年11月1日に、Solvy株式会社を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。これにより、当社は2024年10月30日付で上場廃止となったため、2025年6月期業績予想および配当予想は記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	568,336	384,325
売掛金及び契約資産	181,475	150,457
商品	1,806	1,646
仕掛品	2,564	1,570
その他の棚卸資産	3,238	2,158
その他	83,765	92,283
貸倒引当金	△45	△45
流動資産合計	841,140	632,395
固定資産		
有形固定資産	25,477	25,232
投資その他の資産		
投資有価証券	2,988,528	2,627,635
その他	98,478	98,366
貸倒引当金	△26,650	△26,650
投資その他の資産合計	3,060,355	2,699,350
固定資産合計	3,085,833	2,724,583
資産合計	3,926,974	3,356,979

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,520	12,517
1年内返済予定の長期借入金	87,796	79,015
未払法人税等	55,577	662
賞与引当金	12,339	12,339
契約負債	6,297	5,454
その他	76,735	38,789
流動負債合計	248,265	148,777
固定負債		
長期借入金	78,309	63,602
繰延税金負債	465,232	344,102
資産除去債務	7,260	7,278
固定負債合計	550,802	414,983
負債合計	799,067	563,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,752,936	1,752,936
利益剰余金	401,655	302,395
自己株式	△39,724	△39,724
株主資本合計	2,214,867	2,115,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	892,465	656,983
その他の包括利益累計額合計	892,465	656,983
非支配株主持分	20,574	20,627
純資産合計	3,127,906	2,793,218
負債純資産合計	3,926,974	3,356,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年8月1日 至2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日)
売上高	240,911	162,835
売上原価	134,568	140,883
売上総利益	106,342	21,951
販売費及び一般管理費	86,667	72,579
営業利益又は営業損失(△)	19,674	△50,627
営業外収益		
受取利息	9,271	6,313
受取配当金	2,369	3,105
投資有価証券売却益	11,815	—
その他	1,053	835
営業外収益合計	24,509	10,253
営業外費用		
支払利息	435	480
投資有価証券売却損	—	29
支払手数料	1,026	1,055
為替差損	—	5,933
営業外費用合計	1,462	7,499
経常利益又は経常損失(△)	42,721	△47,873
特別損失		
組織再編費用	—	26,045
特別損失合計	—	26,045
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	42,721	△73,918
法人税、住民税及び事業税	13,937	2,403
法人税等調整額	1,704	3,397
法人税等合計	15,641	5,800
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27,079	△79,719
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	53
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	27,068	△79,772

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27,079	△79,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125,732	△235,481
その他の包括利益合計	△125,732	△235,481
四半期包括利益	△98,653	△315,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,664	△315,254
非支配株主に係る四半期包括利益	11	53

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(Solvy株式会社との株式交換による経営統合について)

当社とSolvy株式会社(旧:日本リビング保証株式会社)は、2024年11月1日にSolvy株式会社を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換による経営統合をいたしました。本経営統合に伴い、Solvy株式会社の完全子会社となる当社は、2024年10月30日付で上場廃止となりました。

詳細につきましては、2024年8月9日公表の「日本リビング保証株式会社と株式会社メディアシークの株式交換契約及び経営統合契約の締結について」をご参照ください。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計	調整額 (注)1,3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	コーポレ ートDX (注)1	画像解析・ AI	ライフスタ イルDX	ブレインテ ック・DT x	計				
売上高									
一時点で移転さ れる財	36,012	59,878	58,209	83	154,184	—	154,184	—	154,184
一定期間にわた り移転される財	45,783	6,830	33,957	155	86,726	—	86,726	—	86,726
顧客との契約か ら生じる収益	81,795	66,709	92,167	238	240,911	—	240,911	—	240,911
外部顧客への売 上高	81,795	66,709	92,167	238	240,911	—	240,911	—	240,911
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	81,795	66,709	92,167	238	240,911	—	240,911	—	240,911
セグメント利益 又は損失(△)	40,273	20,463	31,751	△12,247	80,240	△8,095	72,144	△52,470	19,674

(注) 1 主に、株式会社メディアシークキャピタルで発生するベンチャーインキュベーションのビジネスユニットで発生した活動は、一部全社管理部門及びコーポレートDXセグメントで発生した活動との切り分けが困難であるため、これらに含めております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として研究開発部門の新規領域での事業活動等になります。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計	調整額 (注)1,3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	コーポレ ートDX (注)1	画像解析・ AI	ライフスタ イルDX	ブレインテ ック・DT x	計				
売上高									
一時点で移転さ れる財	55,053	45,515	22,332	17	122,919	—	122,919	—	122,919
一定期間にわた り移転される財	23,388	1,720	14,552	255	39,916	—	39,916	—	39,916
顧客との契約か ら生じる収益	78,442	47,235	36,884	272	162,835	—	162,835	—	162,835
外部顧客への売 上高	78,442	47,235	36,884	272	162,835	—	162,835	—	162,835
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	78,442	47,235	36,884	272	162,835	—	162,835	—	162,835
セグメント利益 又は損失(△)	13,465	10,311	△4,114	△13,192	6,469	△2,151	4,318	△54,946	△50,627

(注) 1 主に、株式会社メディアシークキャピタルで発生するベンチャーインキュベーションのビジネスユニットで発生した活動は、一部全社管理部門及びコーポレートDXセグメントで発生した活動との切り分けが困難であるため、これらに含めております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として研究開発部門の新規領域での事業活動等になります。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	2,107千円	1,770千円